

## 平成27年度 第1回 総合教育会議 会議録（要約）

期 日 平成27年5月25日（月）10時00分から11時30分

場 所 雲仙市役所3階 中会議室

出席者 市長部局

金澤市長

教育委員会部局

福田保委員長 ・ 内藤貴子教育委員長職務代理者

山中藤久委員 ・ 徳永 卓委員 ・ 山野義一教育長

・ 事務局 （ 山本教育次長、坂本総務課長、下田学校教育課長、  
松橋生涯学習課長、本多スポーツ振興課長、  
総務課関課長補佐（記録） ）

欠席者 なし

### 会議日程

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 議事
  - （1）総合教育会議の設置について
  - （2）雲仙市の教育の現状と課題等について
  - （3）平成27年度雲仙市教育行政について
  - （4）雲仙市教育振興基本計画について
  - （5）その他
- 4 閉会

【午前 10 時開会】

市長あいさつ

**金澤市長** 雲仙市で最初の総合教育会議を開催することになったが、これは「地方行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」が本年 4 月 1 日に施行され、教育の政治的中立性・継続性・安定性を確保しつつ、地方教育行政における責任の明確化、迅速な危機管理体制の構築、首長と教育委員会の連携強化を図る目的により、このような会議が設けられている。

地方の人口減少が加速度的に進んでおり、少子化・核家族化など、現代の子どもたちを取り巻く環境はたいへん厳しいものがある。特に、近年、いじめや児童虐待等が社会問題となっており、自ら命を絶つなど、痛ましい事件が全国的に後を絶たないことは、誠に由々しきことであり、その報道に触れるたびにたいへん心を痛めている。子どもは地域の宝であり、その宝を育むのが、私たち大人の責務である。今こそ、学校・家庭・地域及び行政が一体となって、将来を担う子どもたちのための教育・生活環境の整備に向け、手を携え、子どもの心に寄り添い、見守り育む健全育成に、全力を挙げて取り組むことが強く求められている。

高齢化社会において、生涯にわたって学び、スポーツを楽しむ生涯学習の推進は、市民の皆さんの自己実現を支援し、生きがいを持ち、市民の交流を広げ、市民が主体的にまちづくりに参加することにつながると大いに期待されている。

この総合教育会議が教育委員と力をあわせて、問題意識を共有し、様々な教育施策を進めていく第一歩となること期待する。

教育委員長あいさつ

**福田委員長** 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律が、昨年の 6 月 20 日に公布され、本年 4 月 1 日から施行された。大津市いじめ事件を契機に教育委員会にメスが入れられ、地方教育行政における責任の明確化そして、迅速な危機管理体制の構築、地方公共団体の長と教育委員会の連携が述べられ、地方公共団体の長は、総合教育会議を設け、その中で、教育に関して大綱を策定するということが述べられている。

第 1 回の総合教育会議で意見交換や協議を行いながら、雲仙市における教育施策の方向性など確認できればと思っている。

議事 1 総合教育会議の設置について

※雲仙市総合教育会議運営要綱について説明

原案どおり承認する。

議事 2 雲仙市教育の現状と課題等について

※雲仙市教育の現状と課題等について、資料により説明

**内藤委員長職務代理者** 学校の児童・生徒数が減少していることは、雲仙市全体を見てもとても大きな問題であり、30 人を切っている学校が 5 校あるという状況を心配している。

**福田委員長** 雲仙市は早急に統合することではなく、慎重に進めていくというだが、将来的なことも考え、計画的に地域・保護者・学校も含めて話し合いをするなどの積み重ねが必要だと思う。

**山野教育長** 小規模校のメリットを伸ばし、デメリットを解消する取組が必要であると考ええる。各小規模校は、近隣校と連携して、デメリットを解消するとともにメリットを最大限に生かす教育活動を推進している。現に 20 名を切っている小学校もあるので、今後も児童数の推移を注視し、学校・地域・保護者等の実態・意見等を考慮しながら対応していきたい。

**山中委員** 自治会長をしており、自治会長会議の中で、雲仙市は空き家対策で人口増を目指していると聞くが、そういう方向性を強めに打ち出すことが子どもを増やす一番の方法と思う。

**山野教育長** 人口増の制度について市長より説明をお願いしたい。

**金澤市長** 空き家対策も最初の第一歩で、色んなことを積み重ねていかないと効果というのは、長い目でみないとわからない。人口減少対策というのは、一番の基本であることは間違いない。

学校の統廃合について、児童数、学級数、通学時間など文科省から示された基準等はないのか。

**山野教育長** 文科省が示した適正配置等に関する手引きでは、小学校の場合 1～6 学級の学校は、学校統廃合等を速やかに検討する必要がある。7・8 学級の学校は、統合の適否を検討する必要がある。中学校の場合 1～3 学級の学校は、学校統廃合等を速やかに検討する必要がある。4・5 学級の学校は統合の適否を検討する必要があるとなっている。なお、諸事情等により統合しない場合は、小規模校のメリットを最大限生かす方策や、小規模校のデメリットの解消策を積極的に実施する必要があるとなっている。通学距離については、小学校で概ね 4 Km 以内、中学校では概ね 6 Km 以内という基準が一般的となっているが、今回、通学時間について「概ね 1 時間以内」を一応の目安とすることが示された。

**徳永委員** 親が働いているため、学童など子供を預かる施設があればと思う。

**内藤委員長職務代理者** 小学校に放課後クラブを設置できないのか。

**山野教育長** 平成 26 年度放課後子ども教室を 3 教室実施しており、全ての小学校に放課後子ども教室があるという現状ではない。

**徳永委員** 学校統廃合については、若い世代の考えもあるが、地域がまとまり、進めていければと思う。

**内藤委員長職務代理者** 子どもにとって、親の送迎により通学するのと、自分で歩いて学校に行くでは、成長の具合が、精神的にも違うと思う。

議題3 平成27年度雲仙市教育行政について、  
※平成27年度雲仙市教育行政について、資料により説明

**山中委員** 生涯学習の推進で、青少年育成協議会の推進ココロねっこ運動、家庭の日について具体的にどういう方向性で進めるのか。

**山野教育長** 「ココロねっこ運動」「家庭の日」の推進が、長崎県子育て条例に明記されている。私たち大人が子どもたちと真正面から向き合うことにより、子どもの豊かな感性はより育まれるという観点から、「ココロねっこ運動」と「家庭の日」の取組を各学校で確実に実践し、心の教育の充実を目指したいと思う。

**福田委員長** 家庭の日については、雲仙市だけでなく長崎県全体での取り組みが必要と思う。

**山野教育長** 「家庭の日」の周知・取組みが十分でなかったと思う。まずは雲仙市において、毎月1回の「家庭の日」には、部活動、社会体育等を休むことについての徹底を図っていきたい。

**徳永委員** 家庭の日は、部活動の指導者の共通理解が必要で、子供たちが部活を休み、自由な行動や休養を取ることは重要なことと思う。

**内藤委員長職務代理者** 中学校の部活動は、外部指導者が入っており、外部指導者を集めた研修会があればと思う。教育委員会が社会体育に対して指導等ができれば、子どももゆとりが持てるのではないか。

**山中委員** 他市より先駆けて、家庭の日は部活動は休みと雲仙市の方針を出すと、部活動の指導者も納得するのでは。

**山野教育長** 部活動、社会体育の実施状況について、定期的に調査を実施し、必要に応じて指導していきたい。教育委員会から指導者等へ通知するとともに、いろんな機会を通して周知を図っていく。子どもを育むための部活動、社会教育だと思う。強いチームではなく、いいチームを作ってほしい。

議事 4 雲仙市教育振興基本計画の策定について

※雲仙市教育振興基本計画について、資料により説明

意見等特になし

議題 5 その他

次の開催時期について、9月下旬または10月上旬に開催することを確認する。

【午前11時30分開会】